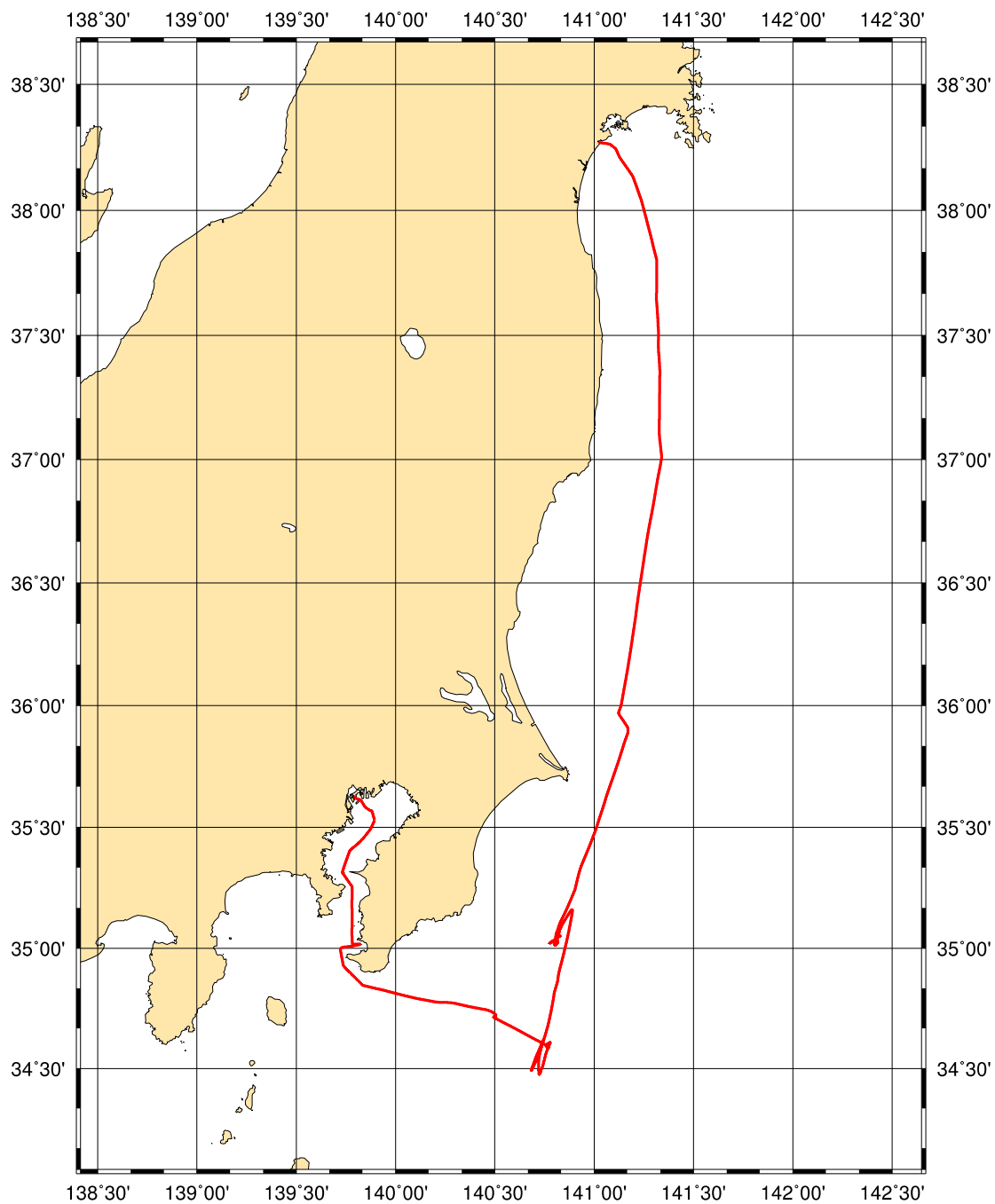


「よこすか」・「しんかい6500」研究航海報告

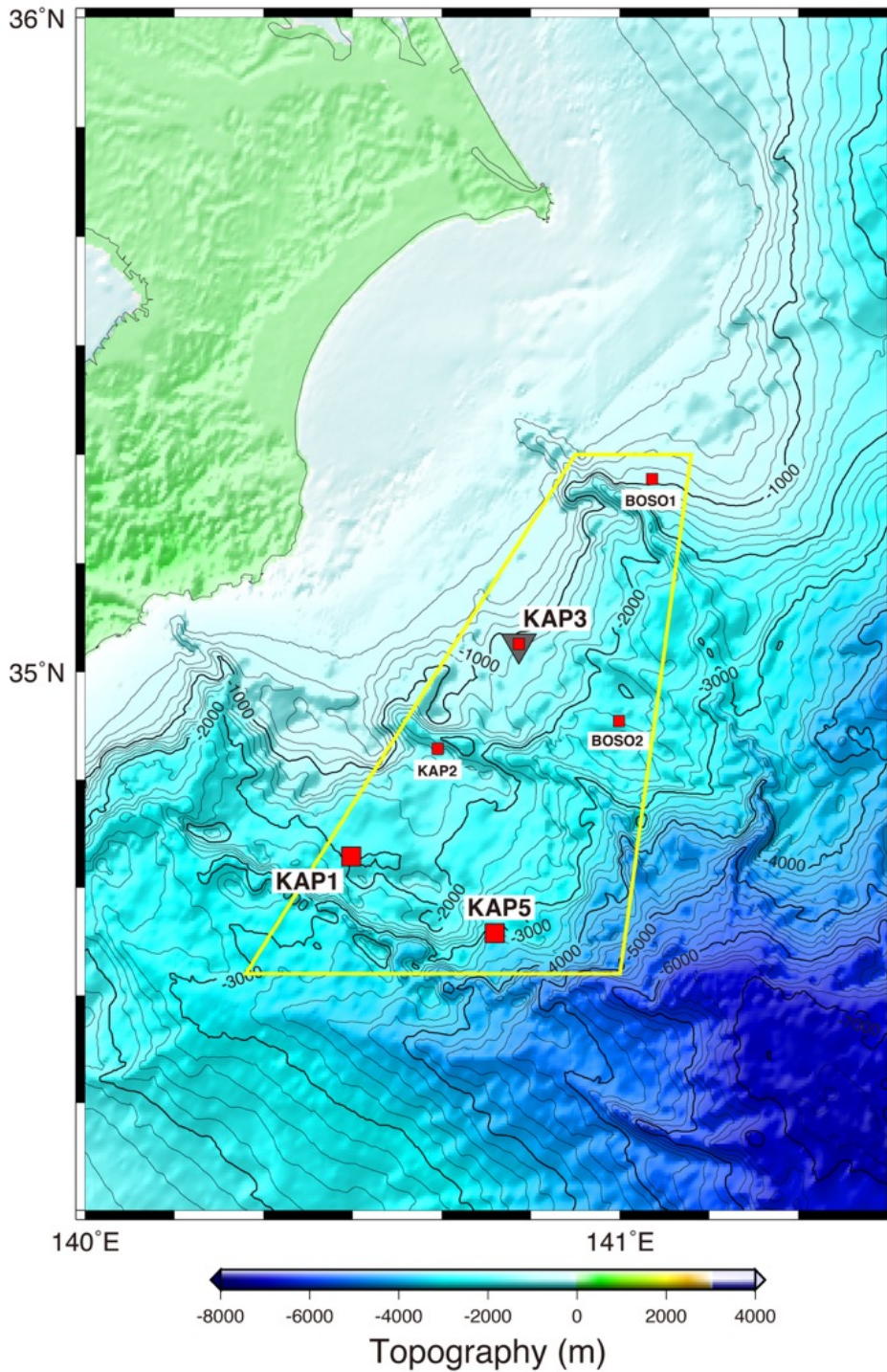
- * 航海番号 YK20-15S 次研究航海
- * 航海名称 (和文) 房総沖スロースリップイベント発生域での海底広帯域地震・測地の長期複合観測研究
(英文) Long-term broadband seismic and geodetic observation study in a slow slip event source region off Boso
- * 観測海域 (和文) 房総半島南東沖
(英文) Southeastern off Boso Peninsula
- * 航海期間 2020年10月18日(日) ~ 2020年10月22日(木)
- * 出港日時・場所 10月18日 10時 仙台港(高松2号埠頭)
- * 入港日時・場所 10月22日 10時 東京港(有明MP埠頭)
- * 寄港期間・場所 無し
- * 研究課題 房総沖スロースリップイベント発生域での海底広帯域地震・測地の長期複合観測研究
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎は@)
塩原 肇・東京大学 地震研究所・教授・shio@eri.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mailアドレス), 観測項目
 1. 長期海底広帯域地震・傾斜観測の実証試験, 塩原(shio@eri.u-tokyo.ac.jp), 潜航作業での機器回収と新規設置
 2. 長期海底圧力アレイ観測の強化, 佐藤(satot@faculty.chiba-u.jp), 新規2点設置
- * 乗船研究者氏名・所属・職名
塩原 肇・東京大学 地震研究所 海半球観測研究センター・教授
佐藤 利典・千葉大学大学院 理学研究院 地球科学研究部門・教授
HyeJeong Kim・東京大学 地震研究所 海半球観測研究センター・大学院生 DC2
川野 由貴・東京大学 地震研究所 海半球観測研究センター・大学院生 DC2
永井 はるか・東京大学 地震研究所 海半球観測研究センター・大学院生 MC1

* 航跡・測点図

YK20-15S 航跡図 (18-22 Oct. 2020)



観測海域図



KAP3地点で、長期海底広帯域地震・傾斜観測のための機器(BBOBST-NX)の設置・回収作業を「しんかい6500」により実施した。同地点での海底環境モニタのため、海底電磁流向流速計(OBEMC)をBBOBST-NXの近傍(距離25m)に設置した。

また、長期海底圧力アレイ観測の強化のため、既存の4観測点(BOS01, BOS02, KAP2, KAP3)に加えて、KAP1・KAP5の2地点に海底圧力計(OBP)を新規に設置した。